

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興

施策 就業環境の整備

基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (道路橋梁点検委託事業)**

[0932]

部名	建設部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市道橋</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>道路施設を常に良好な状態に保ち橋梁の安全性を確保し、利用者が安心して通行できる橋梁を維持する。</p>
	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>老朽化による橋梁の更新等の調査</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市道橋の全体数	箇所			135	
対象指標2						
活動指標1	実施箇所	箇所			135	
活動指標2						
成果指標1	点検による橋梁維持管理上の不具合件数	件			2	
成果指標2	雇用者数	人			4	
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	2,541	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	415	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	2,956	0

費用内訳	
21年度	委託料 2,541千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障にならぬように努めなければならない。（道路法第42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

安全な交通確保に大きく貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

全箇所の点検は完了している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

点検を基に補修を計画的に実施することで成果は向上する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

必要最小限のコストで実施している。